

建築学科（建築学プログラム）

○ディプロマ・ポリシー

建築学プログラムでは、全学の学位授与の方針及び工学部の教育目標に鑑み、当プログラムのカリキュラムに沿って各教育目標を達成し、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した者に学士の学位を授与します。

1. 建築技術者としての使命感と倫理観を持ち、幅広い視野に立って多面的に建築を考えることができる能力
2. 建築における基本的な考え方を理解し、工学技術と人文社会科学・芸術の知識を応用することができる総合力
3. 新しい建築文化や建築技術の創造へつながる自主的・継続的学習能力及びエンジニアリング・デザイン能力（必ずしも正解の無い複合的な課題に対して、創造的かつ効果的な解決策を提示できる能力）
4. 地域社会及び国際社会の建築に関する場で活動できる情報発信力、コミュニケーション力、及びチームで仕事をする能力

○カリキュラム・ポリシー

ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を備えた人材を育成するため、以下に示す方針に基づいて、教育課程（カリキュラム）を編成のうえ、実施します。また、カリキュラムマップを別表に示します。

1. 初年次から卒業まで系統性のある教育課程の編成

- ①建築技術者としての使命感と倫理観を持ち、幅広い視野に立って多面的に建築を考えることができる能力を養成する科目を配置します。
- ②建築分野の基礎から応用までの理論・技能を修得し発展させるための汎用的な専門能力を得させるため基盤教育、専門教育を配置します。
- ③建築における基本的な考え方を理解し、工学技術と人文社会科学・芸術の知識を応用することができる総合力を養成する科目を配置します。
- ④新しい建築文化や建築技術の創造へつながる自主的・継続的学習能力及びエンジニアリング・デザイン能力（必ずしも正解の無い複合的な課題に対して、創造的かつ効果的な解決策を提示できる能力）を養成する科目を配置します。

2. 目的・目標に応じた方法による教育の実施

学位授与の方針に掲げる能力を育成するために、各科目の目的・目標に応じた方法による教育活動を行います。

3. 厳格な成績評価の実現

各科目において教育・学修目標と評価基準を明確に示し、厳格な成績評価を行います。

○アドミSSION・ポリシー

<建築学プログラムの教育目標>

建築学プログラムでは、工学部の教育目標を受けて、包括的な教育を基盤とした建築学総合プログラムとして、次の具体的な教育目標を掲げています。

1. 建築技術者としての使命感と倫理観を持ち、幅広い視野に立って多面的に建築を考えることができる能力を養います。
2. 建築における基本的な考え方を理解し、工学技術と人文社会科学・芸術の知識を応用することができる総合力を養います。
3. 新しい建築文化や建築技術の創造へつながる自主的・継続的学習能力及びエンジニアリング・デザイン能力（必ずしも正解の無い複合的な課題に対して、創造的かつ効果的な解決策を提示できる能力）を養います。
4. 地域社会及び国際社会の建築に関する場で活動できる情報発信力、コミュニケーション力、及びチームで仕事をする能力を養います。

<入学者受入方針（アドミSSION・ポリシー）>

1. 求める人材像

建築の役割は、個々の建物から都市までを対象として、学術と技術と芸術の3つの面を融合して、人々に快適な空間を創造することです。建築学プログラムでは、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語に関する基礎学力を有し、建築と科学と芸術及び社会の広い分野に関心を持つ次のような学生を求めています。

- ・ 建築を造りたいという情熱を持っている人
- ・ 建築に関する自然科学・人文社会科学・芸術の分野に幅広く関心を持ち、自らの強みを活かし主体的に学修する意欲がある人
- ・ 建築と人間や社会、環境との関係に興味がある人
- ・ 建築デザインの分野で素養を活かしたいと考えている人
- ・ 安全で美しく快適な建築を造る技術に関心のある人
- ・ 建築士などの資格を取得し、地域社会や国際社会に貢献する夢をもつ人

2. 入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報などの基礎学力のほか、建築学プログラムでの専門教育に対応できる数学、理科の知識と能力が必要となります。

3. 入学者選抜の基本方針

建築学プログラムでは、一般選抜（前期日程・後期日程）、総合型選抜（自己推薦型選抜）、学校推薦型選抜Ⅱ、私費外国人学部留学生選抜、国際バカロレア選抜により入学者を選抜します。また、高等専門学校等からの編入学では、『推薦による選抜』と『学力検査による選抜』により編入学者を選抜します。

- ・ 一般選抜（前期日程）では、大学入学共通テスト及び個別テスト等の総合得点に基づいて基礎学力、

思考力などを評価し選抜します。

- ・一般選抜（後期日程）では、大学入学共通テスト及び個別テスト等に基づいて基礎学力、志望動機、学習意欲などを評価し選抜します。
- ・総合型選抜（自己推薦型選抜）では、大学入学共通テストに加え、個別テスト等で面接を課し、出願書類（調査書、自己推薦書等）を含め、基礎学力、学習意欲、目的意識などを評価し選抜します。なお、面接は自己推薦書に基づく口頭試問を含みます。
- ・学校推薦型選抜Ⅱでは、大学入学共通テストに加え、調査書及び面接の結果に基づいて基礎学力、学習意欲、目的意識などを評価し選抜します。大学入学共通テストでは、2つの配点パターン（a：文系科目重視型、b：理系科目重視型）のうち総合得点がより高得点となるパターンを利用します。
- ・私費外国人学部留学生選抜では、個別テスト等で面接を課し、基礎学力、日本語能力、学習意欲、目的意識などを総合的に評価し選抜します。
- ・国際バカロレア選抜では、IB最終試験6科目の成績、志望理由書などの書類審査により、基礎学力、論理的思考力、表現力などの能力、学習意欲、目的意識などを評価し選抜します。
- ・編入学の『推薦による選抜』では、面接、小論文を課し、高等専門学校長の推薦書・調査書、成績証明書を含め、基礎学力、学習意欲、目的意識などを評価し選抜します。
- ・編入学の『学力検査による選抜』では、専門教育科目の学力検査、面接などを課し、基礎学力、学習意欲、目的意識などを評価し選抜します。